報道関係者各位

2026年11月19日(木)

Ｊ．フロント リテイリング株式会社
株式会社 大丸松坂屋百貨店
株式会社パルコ

2027年春、松坂屋名古屋店 南館に「PARCO_ya名古屋」開業

パルコ×大丸松坂屋百貨店が手がける新たな商業施設

Ｊ．フロント リテイリンググループの株式会社大丸松坂屋百貨店と株式会社パルコは、2027年春、松坂屋名古屋店 南館の一部（地下2階および1階～6階 ※一部除く）を、パルコが運営する新たな商業施設「PARCO_ya名古屋」へと大規模リニューアルします。

ファッション、フード、ライフスタイル、カルチャーなど、多様なジャンルから、エリア初出店の店舗を含む約100店舗の出店を予定しております。



松坂屋名古屋店 南館 外観イメージパース

名古屋PARCO、松坂屋名古屋店、HAERAを訪れる幅広いお客様をPARCO_ya名古屋がハブとなってつなぐことで、Ｊ．フロント リテイリンググループとしてのエリアプレゼンスを高めるとともに、次なる文化を創出する場を目指します。

PARCO_ya名古屋ティザーWEBサイト　https://parcoya-nagoya.parco.jp/teaser2026/

“yet another” 名古屋・栄における“もう一つのパルコ”

PARCO_ya名古屋（読み：パルコヤナゴヤ）

現在、PARCOは全国に展開しています。各地域のマーケット環境や規模に応じた商業空間を創造し、ターゲット層に合わせた、店舗ごとに特色あるストアコンセプトで運営しています。

東京・上野では、「松坂屋上野店」「TOHOシネマズ上野」「オフィス」と一体となった複合ビルとして、従来のPARCOとは異なる屋号「PARCO_ya上野」と名付けました。

今回、松坂屋名古屋店のお客様にも親しみを感じていただきながら、名古屋PARCOとは異なる新たな魅力を持つ施設として、屋号を「PARCO_ya名古屋」としました。

【パルコヤ ブランドフィロソフィー】

パル「コヤ」は、次のクリエイティブを生む小屋
パルコ「ヤ〜」は、打ちあがる花火・お祭り
パルコ「屋」は、一体感、団結力。親しみも。
PARCO「YA」は「屋を超えるあたらしい「デパート」「館」の形
PARCO「YA」は、yet another! もうひとつのパルコの形

【PARCO_ya名古屋】のロゴデザインについて

PARCO_yaのロゴタイプは、地域やその建物、その時代の気分を大切にし、デザインは変わるものの、そのデザインアイデアの「PARCO」大文字「_」アンダーバー「ya」小文字という考え方は変えず、マークの体も「カタカナのパ」をデザインのベースとする考え方は変えていません。
今回は「PARCO_ya名古屋」の店舗内装とイメージを合わせ、「クラシックモダン」がテーマで、PARCOロゴの形をベースに**「もし、PARCOが中世ヨーロピアンクラシックの時代から存在したら？」**という想像からデザインされています。シンボルマークは「PARCO_ya名古屋」のモダンクラシックな店舗装飾に合わせた繰り返し使えるマークとなっています。

ロゴデザイン



千原徹也

クリエイティブディレクター／株式会社れもんらいふ 代表
桑田佳祐「がらくた」CDジャケット、「adidas Originals Flagship Store Tokyo」アートディレクション、映画「アイスクリームフィーバー」監督など

ネーミング



小藥元

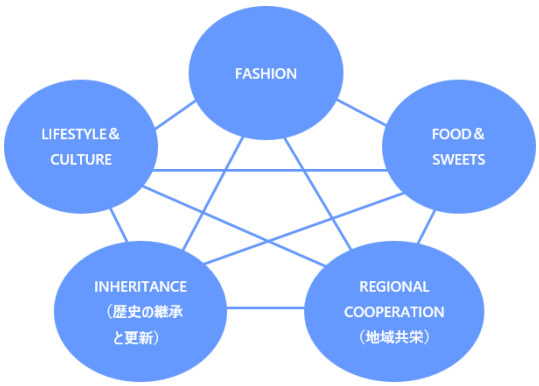
meet&meet コピーライター／meet Inc. 代表取締役
mercari「メルカリ、ありかも。」
TOYOTAランドクルーザー「道を越える。時を超える。」
KIRIN「人生を共に生きるウイスキー」など

施設コンセプト

百貨店とファッションビルの枠を超えた、エリアオルタナティブな商業施設

ファッション・カルチャーにおける先進性を強みとするPARCOと、ラグジュアリーな世界観の構築や賑わいの創出に強みを持つ大丸松坂屋百貨店。そのブリッジとして、両者が培ってきた強みを融合し、既存の商業施設の枠組みを超えた新たな価値を提案することで、より幅広いお客様を惹きつける「エリアオルタナティブ」な商業施設へと進化します。

百貨店や専門店が集積し、文化やトレンドの発信地として発展してきた名古屋・栄において、PARCOが培ってきた先進性や挑戦心、多様な才能を育むインキュベーション機能、そしてカルチャー発信力というDNAを改めて体現し、他の商業施設にはない選択肢や、体験・創造性をもたらしてまいります。ファッション、アート、デザイン、カルチャーなど、さまざまな感性や価値観が交差・融合する、次代の文化を創出する場を目指します。



内装コンセプト

PARCO Déco

松坂屋名古屋店のアールデコ建築様式をパルコらしく再解釈すると、どんな未来を描けるだろうか、という問いからスタートしました。残る建築を継承しつつ歴史と調和した設えを意識し、PARCO Décoの表現をしています。館内には、隣接する久屋大通公園の瑞々しい空気感をそのまま引き入れるように、豊かな植栽をプランニング。さらに「松坂屋美術館」とのシナジーを生むアート拠点の展開や、地域の文脈を紡ぐマテリアル選定により、空間のあらゆるディテールにコンセプトを散りばめました。

新しいものだけがデザインではなく、普遍的な価値に新しい価値を継ぎ足していくこともデザインとなる、松坂屋とパルコ、互いのカルチャーが交差するこの場所が、次なる文化発信の起点となるよう、想いを込めています。



▲大津通側 北入口 エントランスアート
STUDIO SAWADA DESIGN　“Landscape”



▲オルガン広場 植栽デザイン
株式会社DAISHIZEN / SOLSO

施設概要

名称：PARCO_ya名古屋（読み：パルコヤナゴヤ）
施設名称：松坂屋名古屋店 南館
所在地：愛知県名古屋市中区栄三丁目16番地1号
建物構造・規模（南館全体）：
鉄骨造・地下4階～地上11階 塔屋1階
リニューアル対象フロア/面積：
地下2階、1階～6階（一部除く）/約19,000㎡
開業時期：2027年春

松坂屋名古屋店南館	
10F	特選レストラン街
8F	マツザカヤホール
7F	松坂屋美術館・喫茶・シスセット
6F	シスセット
5F	PARCO_ya
4F	
3F	
2F	
1F	インターナショナルブティック、化粧品、他
B1F	ハンズ
B2F	PARCO_ya

J．フロント リテイリンググループ　名古屋栄エリアの取り組み

J．フロント リテイリンググループは、目指す姿「価値共創リテーラーグループ」において「地域共栄」を掲げ、グループ一体でエリアシナジーを追求し、地域の魅力向上と成長への貢献に取り組んでいます。

特に名古屋・栄を重点エリアと位置づけ、PARCO_ya名古屋、HAERA、松坂屋名古屋店、名古屋PARCO、BINO栄、名古屋ZERO GATE、JFRカード等、グループの施設・サービスに加え、地域との連携を通じて、街の賑わいと魅力の創出を推進しています。

6月に開業したHAERAは、新たな顧客層の来街促進や人流増加などの成果を生み出し、栄エリアに変化をもたらしました。PARCO_ya名古屋の開業を新たな契機として、その変化をさらに発展させ、グループの総合力によって栄エリアのさらなる魅力・価値向上と活性化を目指します。



J．フロント リテイリンググループ

●PARCO_ya名古屋
●松坂屋名古屋店
●名古屋PARCO
●HAERA
●BINO栄
●名古屋ZERO GATE
●エンゼルパーク駐車場
●JFRカード加盟店　約140店
（2026年8月末時点）

本件に関するお問合せ

JFR の戦略等について　J．フロント リテイリング株式会社 コーポレートコミュニケーション室 グループ広報担当
TEL：03-6865-7616　E-mail：kouhou@jfr.co.jp

松坂屋名古屋店について　松坂屋名古屋店 広報
TEL：070-5404-6955（原口）、070-1220-7766（小田）、080-7102-6843（小池）
E-mail：817411@jfr.co.jp

PARCO_ya名古屋について　株式会社パルコ 名古屋新館準備室　広報担当